

松風会 News

ゆめクラブ News 468号 2025年(令和7年7月号)

季節の中で最も鬱陶しい梅雨の末期ですが、高温多湿で熱中症が懸念されている今日この頃ですが、会員の皆様方には如何お過ごしでしょうか？ 専門医によると、熱中症対策としては水分補給ですが、水を飲みたくなる前に常に飲んでいる状態にあることが大切と言われていますので、心がけましょう。5月も前月以上に海外からの訪日観光客数は増加の記録づくめで、東南アジアからが最多、行く先は東京、大阪、北海道の順の様です。特に混雑する名所、旧蹟地などにお出掛けの際にはマスク着用と帰宅時の手洗いとうがいを励行しましょう。

7月度定例会は開催します。(12日、土、10:00～11:30) ご存知の通り、会場は冷房完備で各位ご家庭同様に、気持ち良い雰囲気ですので、議論百出、スムーズな議事進行が可能で期待されます。お誘い合わせて多くの方のご出席をお願いします。会員の平均年齢が84歳と高齢化の現在、特に若い方の入会勧誘にご協力をお願いします。

1. 6月度定例会(14日、土、10:00～11:30) 出席者 20名 定員 44名

①全員で「クラブ松風会の歌」を斉唱。

②誕生会： 当月は 立花京子さん、 千田雄輔さん(欠席) の方々です。 おめでとうございます。

恒例により、該当の方々に記念品授与の後、立花さんから返礼の言葉として「毎月、当例会で皆さんとお会いできるのを楽しみにしていますので、今後も健康に留意してまいります。」とのお話がありました。

③7月誕生の方々： 中井明子さんおめでとうございます。

④新会員紹介： 亀井瑞世さんが新しく入会されました。

⑤当月の余興：2班担当で「落語“カラオケ病院”―春風亭柳昇」のビデオを鑑賞しました。

⑥7月の担当：3班の担当となりますので、準備方よろしくをお願いします。

2. 連絡事項

①社会奉仕活動(春の植栽) 6/10 茅ヶ崎市民文化会館

②会長研修 6/2～6/3、湘南友愛チーム研修会 6/26、スマホ講習 6/18・7/16・8/20 14:00～16:00

③7/25(金) カラオケは中止

④茅ヶ崎茅老連の会報誌原稿募集 7/2 締め切り

老人福祉講座 18回(最終回)

田 中 久 夫

日 々 を 大 切 に 生 き よ う

私が70歳の時、松風台社協の機関紙「ひだまり」に「5,000日」というコラムを載せたことがあった。70歳の余命は、14年、日数にして約5,000日しかないから、健康に注意し、趣味やボランティアで楽しく有意義に過ごそうと書いた。その私は今年で87歳になった。5,000日はとうに過ぎている。87歳の余命を調べたら、あと5.5年と出てきた。日数にすると約2,000日しかない計算になる。死ぬ前に病気や認知になるのが、一般的であるので、それを3年とすると残った健康寿命は、3年弱になってしまう。元気で何かができるのはあと1,000日しかない計算になる。こんなことを考えていると人生が悲観的になってしまう。100歳まで生きる人が増えているので、余命のことを考えるのはやめようという気持ちになった。年金ももらえるし、生きていれば、楽しいことが沢山ある。

(次ページに続く)

老後はつらいことも多いがそれは運命と思って忘れようと思うようになった。だが、楽しむためには、心身共に健康でなければならないが、これは大変難しい。残った人生が少ないなら、認知になっても、足腰が弱くなっても、もたもたして歩けるようなら、楽しいことをどんどんやるべきであろう。観劇でもよいし、散歩でもよいし、絵を描いたり楽器をいじったり、パソコンでも庭や畑いじりでもよい。また酒を飲むのもよいし、友達と麻雀やカラオケをして憂さを晴らすのもよい。独り身の人で友達がいないければ、まず友達づくりから始めよう。著名な経営者であった土光敏夫氏が書いた「経営の行動指針」の中に「日に新たなり、日々に新たなり」という言葉がある。「人々に与えられたのは今日しかない。過去はもどってこないし、明日は突然死ぬかもしれない。だから今日をどう生きるかが重要である」と述べている。高齢者にとって人生は短いから一日一日が大切である。「日々新たなり」の気持ちで、お互い貴重な一日を楽しく、有意義に過ごしたいと思う。今回で、老人福祉講座を修了します。長い間お読みいただきありがとうございました。

雑学サロン

- ① 背広の語源は英国ロンドンのセビロー街に背広の仕立て屋が多くあったのが語源。
- ② 「みかんをぶつけると甘くなる」という説は正しい。ただし、腐りやすくなるので、食べる直前がベター。
- ③ 日本に箸を普及させたのは奈良時代で、隋の使節団を迎えるのに際し、国内の役人に箸の使用を求めた。
- ④ 天津甘栗の天津は出港する港の名前で、天津ではほとんど甘栗は生産されない。
- ⑤ 東欧のブルガリアでは、肯定するとき、首を横にふる。

お茶摘み体験旅行

田中久夫

5月20日、茅老連主催の「お茶摘み体験」旅行が行われた。松風会からは竹田会長を含め総勢5名が参加し、お茶摘みやバラ鑑賞などを体験してきた。片道約2時間半の行程で、最初に焼津の魚センターで食事をし、魚などを購入したのち、午後の行程に入った。昼食は、マグロづくしの和食で、ツアーとしては、最上級の食事であった。午後の茶摘みは皆初めての体験で、お茶のための茶摘みと思っていたが、取ったお茶の葉は、てんぷらやおしたしにして食べてほしいといわれ、皆驚いていた。お茶づくりの工場を見学したのち、KADODE OOIGAWA で買い物をし、最後に島田市のバラ公園でばらを鑑賞した。公園は100メートル以上の広さがあり、500種類のバラが、所狭しとばかりに咲いていた。今回の旅行では、お土産は茶摘みの葉だけであったため、皆満足したようであった。男性は私一人で、4人の素敵女性に囲まれていたが、とげがありそうなので近づかないようにしていた。少し暑かったが、皆元気で帰還。お疲れさまでした。（末尾写真掲載）



川柳

田中久夫

○ トランプが 名前かえよと チャイナ熱
○ お賽銭 物価上がって 少し上げ
○ 同窓会 マドンナ探すも 見当たらず
○ 医者が投げ 坊主拾って あの世行き
○ バスツアー 止まるたびに ヨーイドン